

郷土玩具

歴史と特色

城下町金沢では行事や風習とともに、子供たちの夢を育ててきたおもちゃや人形が、無名の職人によって心をこめて作り伝えられてきた。

加賀人形は、5代藩主綱紀が京都より人形職人を招き、御所人形の製作修理にあたらせた事が始まりとされている。後に、獅子舞等の姿を写した人形が作られるようになった。

また、張り子で作られた八幡起上りは、八幡様の祭神である応神天皇をうやまう翁が、天皇の御幼体を赤い綿布で包んだ形を作ったのが始まりとされ、七転び八起きの縁起の良さが人々に愛されてきた。他に小型化した加賀獅子頭、もちつき兔や米くいねずみのからくり人形を母体としたものや、竹や布紙で作った旗源平、張り子には干支の起上り、俵牛、犬張子、首振り虎などがある。土人形は大方廃絶し、家の新改築の時の便所の神様がわずかに残っている。

역사와 특색

가나자와에서는 다양한 완구가 만들어져 왔다. 사자춤 모양의 가가인형, 하야타 오뚝이, 소형의 가가사자머리, 절구 찢는 토끼와 쌀 먹는 쥐의 자동인형, 하타켄페이, 동물을 본뜬 하리코 오뚝이와 목 흔들리는 인형, 집을 신축하거나 개축할 때에 묻어두는 변소의 신이라는 흙인형 등이 있다.

▶ 情報 정보

主な生産地(주요 생산지)	金沢市(가나자와시)
主な製品名(주요 제품명)	加賀獅子頭、加賀人形、八幡起上り(가가사자머리, 가가인형, 하지만오뚝이)
主な生産者(주요 생산자)	中島めんや(나카지마멘야) 〒920-0902 金沢市尾張町2-2-18(가나자와시 오와리초 2-2-18) TEL (076)232-1818 加賀人形店一晃(가가인형점 잇코) 〒921-8106 金沢市十一屋町13-12(가나자와시 주이치야마치 13-12) TEL (076)241-2951



고토 琴

歴史と特色

平安時代にはすでに琴の名が使われていたが、現在のような13弦の箏[そう]を琴と呼んだのは鎌倉時代以降と言われている。金沢における琴の製造は江戸時代に入ってからで、武家の女性の教養の一つとして数えられた。

明治以降も女性のたしなみとして城下町金沢の生活に根ざっていた。第2次大戦後、琴の需要は増加しているが、芸術的表現と優れた技術を必要とするため、原木から一貫して製造する業者は少なくなっている。

また、部分的に華麗な蒔絵や螺細を施した楽器であり、美術工芸品でもある。

琴には関東を中心とした山田流琴と、関西を中心とした生田流琴があり、金沢では、山田流琴が主に生産されている。

역사와 특색

가나자와에서는 에도시대에 13 현의 전통악기인 고토가 만들어지기 시작했다. 당시 고토는 무가여성들의 교양의 하나로 여겨지고 있었다. 메이지 이후에도 여성의 소양으로 생활 속에 자리를 잡고 있었다. 화려한 마키에와 나진으로 장식된 고토는 미술 공예품이기도 하다.

▶ 情報 정보

主な生産地(주요 생산지)	金沢市(가나자와시)
主な製品名(주요 제품명)	山田流琴(야마다류 고토)
主な生産者(주요 생산자)	野田屋琴三弦店(노다야 고토산겐 상점) 〒920-0853 金沢市本町1-8-9(가나자와시 혼마치 1-8-9) TEL (076)221-2870